



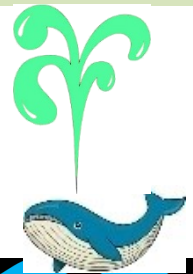
セーフティプロモーションスクールの取組 宮城県石巻市立鮎川小学校



防災主任

内 容

- **学区・本校の概要**
- **取組の概要**
- **成果と課題**



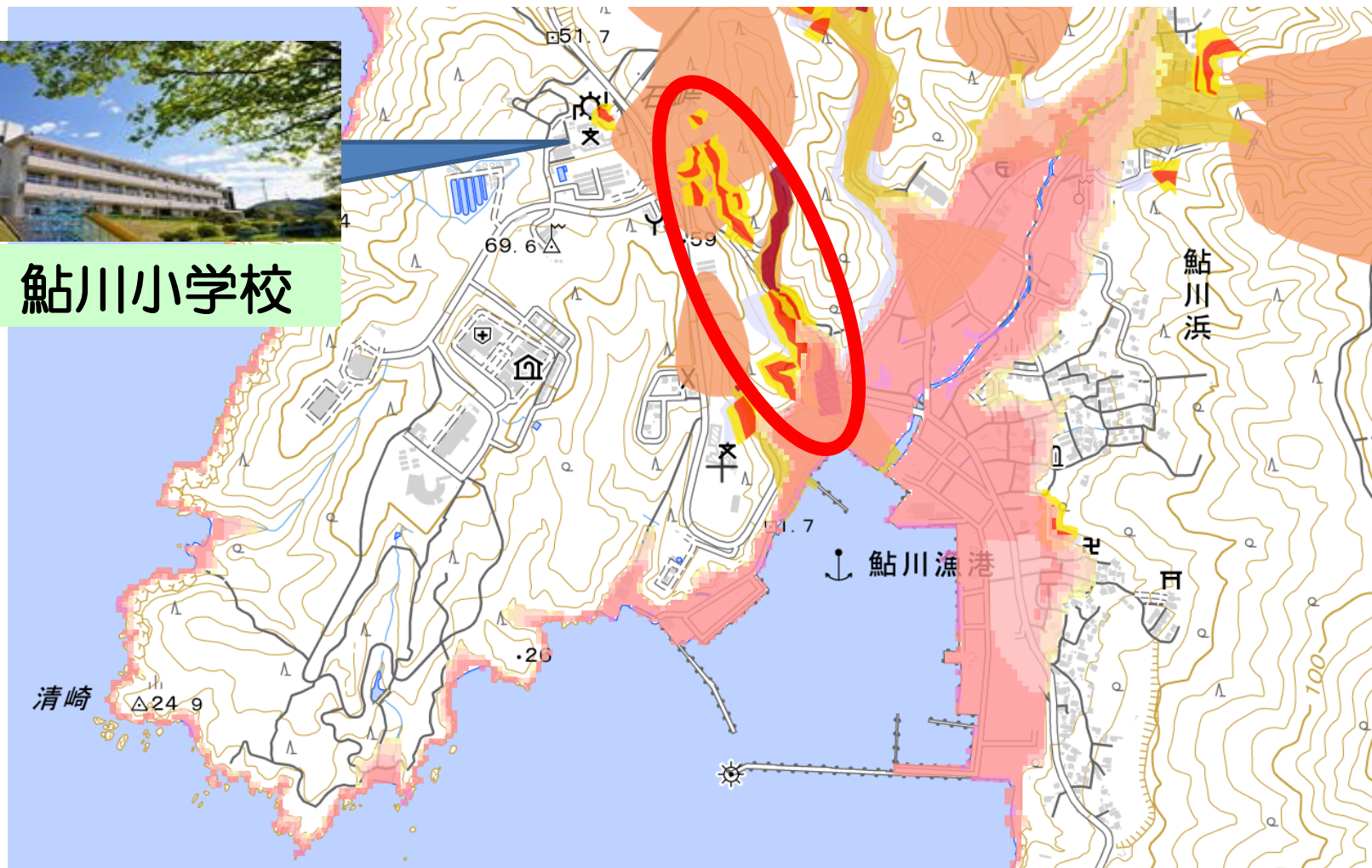
学区の概要



学区の概要



鮎川小学校



学区の概要

【東日本大震災直後の鮎川】



本校の概要 【東日本大震災直後の校舎】

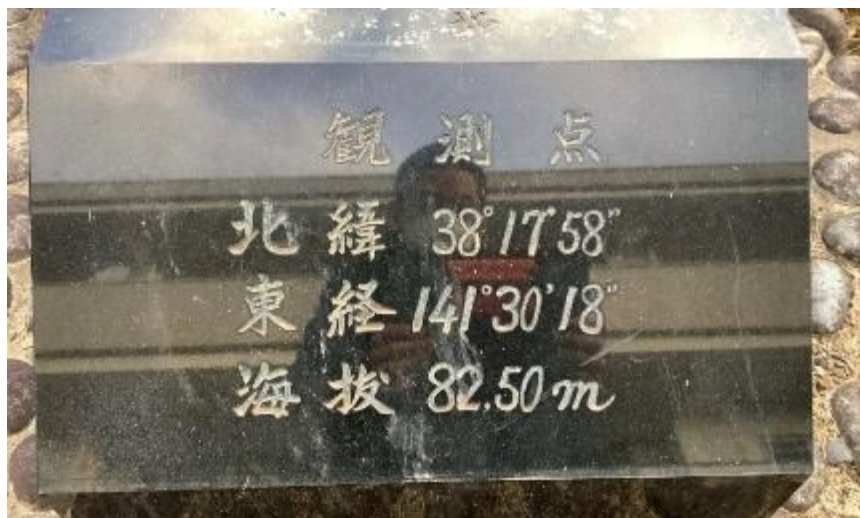


本校の概要



- ・ 児童数 13名（低・中・高の複式学級）
教職員 10名

本校の概要



- ・海拔80m以上の高台に位置しており、東日本大震災の時も津波による浸水被害はない。

- ・東北電力女川原子力発電所から南西の位置にあり、約11kmの距離にある。

本校の概要

- ・ 地域の伝統芸能・文化を継承する学習



牡鹿銀鱗太鼓



七福神舞

本校の概要

S P S 認証

- 平成28年度
取組開始
- 平成29年度
正式認証
- 令和2年度
再認証（2期目）



3 期目の取組

生活安全

- 1 情報教育に関する研修会
- 2 メディアコントロール
- 3 こども安全点検
- 4 けがの予防の呼び掛け
- 5 危険生物に関する知識や対処法
- 6 警察と連携した不審者対応避難訓練

生活安全

(安全教育) (安全連携)

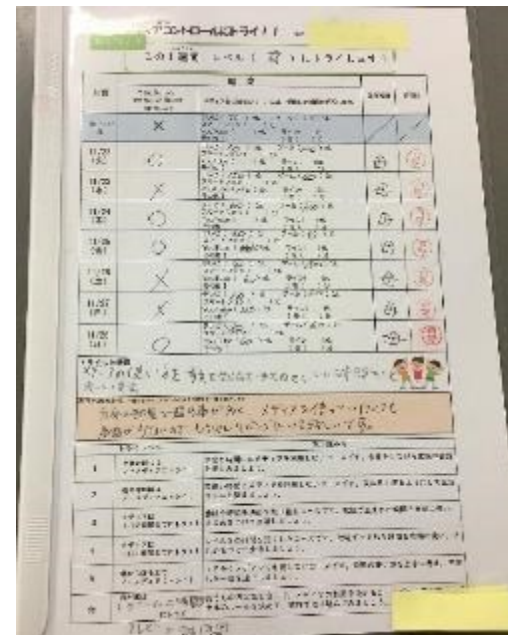
1 情報教育に関する研修会

- ・学習参観後に保護者ととも「親子情報モラル教室」に参加。
- ・タブレット端末を活用しながら、タブレット端末の正しい使い方やインターネットの活用に関する正しい知識を学ぶ。

生活安全 (安全教育) (安全連携)

2 メディアコントロール

トライレベル	取り組み方
1 夕食の時には ノーメディアにトライ!	夕食の時間にはメディアを利用しないコースです。 食事をしながら家族で会話を楽しみましょう。
2 夜9時以降は ノーメディアにトライ!	夜遅い時間にメディアを利用しないコースです。 夜は早く寝るようにして生活リズムを整えましょう。
3 メディアは 1日2時間までにトライ!	時間を決めて取り組むコースです。 取組で生まれた時間を有効に使い、けじめをつけて生活しましょう。
4 メディアは 1日1時間までにトライ!	レベル3の時間を短くしたコースです。 取組で生まれた時間を有効に使い、けじめをつけて生活しましょう。
5 朝から寝るまで ノーメディアにトライ!	1日全くメディアを利用しないコースです。 時間の使い方を上手に考え、充実した1日を過ごしましょう。
☆ 我が家コースにトライ! ()	おうちの方と話し合って、メディアの利用を決めるコースです。我が家オリジナルのルールを決めて、家族で取り組んでみましょう。



- ・牡鹿地区4校(鮎川小学校, 大原小学校, 寄磯小学校, 牡鹿中学校)共通で取り組んでいる。
- ・牡鹿中学校の定期テスト期間に合わせて、年に2回実施。

生活安全

(安全教育)(安全管理)

3 こども安全点検

(月) 担当縦割り班(班)

記入責任者 (班長:)

場 所	チェック項目	結 果
ランチルーム	こわれているものはありますか?	
	危険と思われるものはありますか?	
	その他	
5,6 年教室	こわれているものはありますか?	
	危険と思われるものはありますか?	
	その他	
3,4 年教室	こわれているものはありますか?	
	危険と思われるものはありますか?	
	その他	
パソコン室	こわれているものはありますか?	
	危険と思われるものはありますか?	
	その他	
1,2 年教室	こわれているものはありますか?	
	危険と思われるものはありますか?	
	その他	
学習室	こわれているものはありますか?	
	危険と思われるものはありますか?	
	その他	
音楽室	こわれているものはありますか?	
	危険と思われるものはありますか?	
	その他	



- ・児童と教員が一緒に校舎内外の安全点検を年4回実施。
- ・不具合や危険な箇所をリストアップし、改善を図る。

生活安全 (安全教育)

4 けがの予防の呼び掛け



- ・児童集会で健康委員会がけがの予防や、遊具の正しい使い方について呼び掛ける。
- ・校内に掲示し、児童が常に確認できるようにする。

生活安全

(安全教育)

5 危険生物に関する知識や対処法



・児童用，職員用の掲示物を作成し，知識や対処法を共有する。

生活安全

(安全教育)(安全管理)(安全連携)

6 不審者対応避難訓練

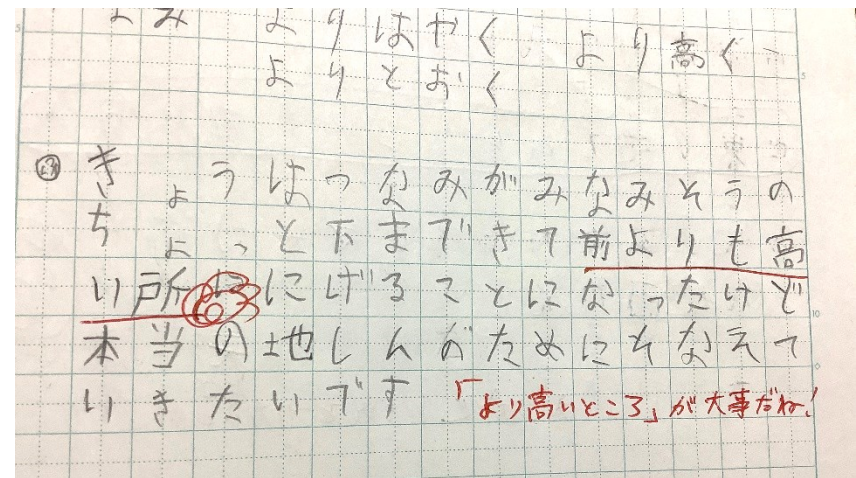
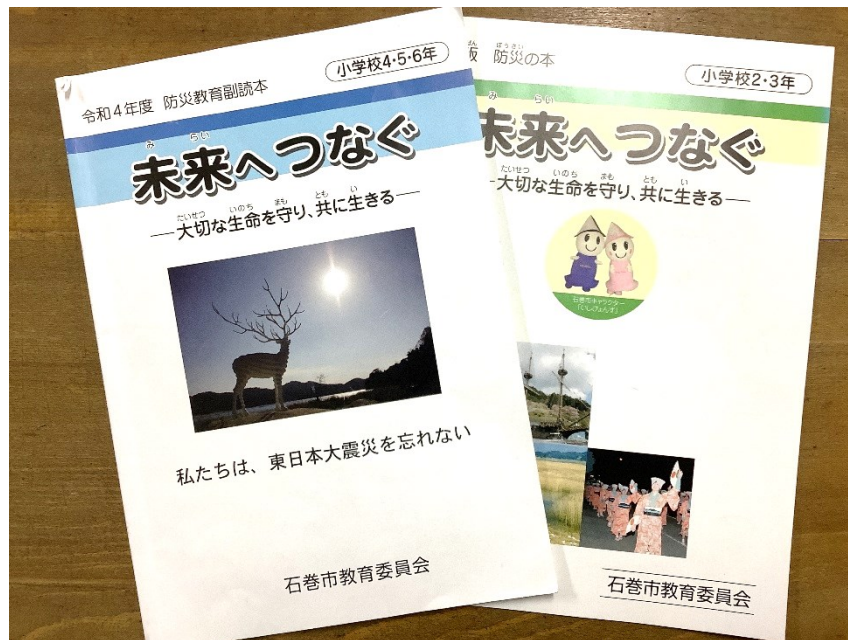
- ・牡鹿駐在所，石巻警察署の方に協力を依頼して，訓練を実施。
- ・事前に職員を対象とした不審者対応訓練を実施し，対処法を確認。

災害安全

- 1 副読本を活用したカリキュラム「防災の時間」
- 2 防災マップづくり
- 3 通学路の危険箇所点検
- 4 地域の特性を踏まえた避難訓練

災害安全 (安全教育)

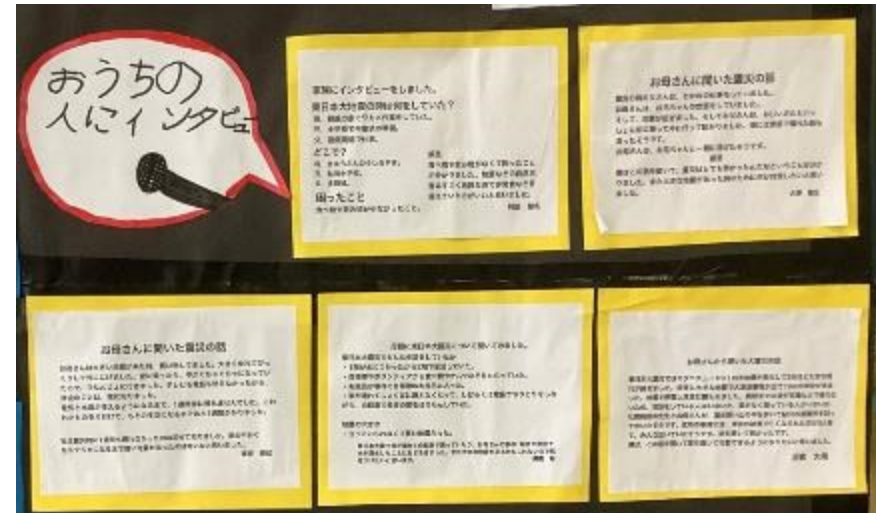
1 副読本を活用したカリキュラム 「防災の時間」



・毎月1回、業前活動の時間に「防災の時間」を実施。防災の知識を高める防災学習に取り組んでいる。

災害安全 (安全教育)

2 防災マップづくり



- ・避難場所，安心安全のための施設，危険な場所，災害を通して伝えたいことや伝えたい場所の視点で作成。
- ・危険な場所について知るだけでなく，地域の安全を守る方々の役割や思いを知り，東日本大震災のことを伝えていこうという気持ちをもつことができた。

災害安全 (安全教育)



災害安全 (安全管理)

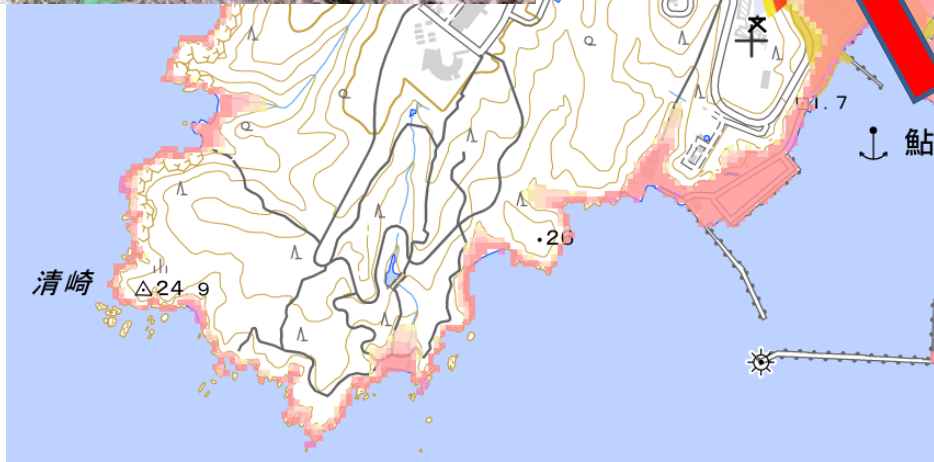
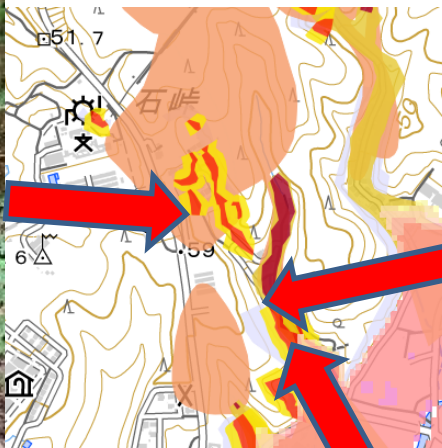
3 通学路の危険箇所点検



・教員による地区巡視だけでなく、児童とともに通学路を歩き、危険箇所を点検。

災害安全 (安全管理)

3 通学路の危険箇所点検



災害安全

(安全教育)(安全連携)

4 地域の特性を踏まえた避難訓練

- 地震想定避難訓練(引渡し訓練)
- 地域合同避難訓練
- 牡鹿中学校区合同引渡し訓練
- 火災想定避難訓練
- 原子力防災訓練
- ショート避難訓練(清掃時間・予告あり)
- ショート避難訓練(業間休み・予告なし)
- 地域想定避難訓練

災害安全 (安全教育)

地震想定避難訓練 (引渡し訓練)



- ・震度6強の地震を想定。校庭に二次避難。



- ・大津波警報が発令されたことを想定し、校舎3階に避難。

災害安全 (安全連携)

地震想定避難訓練 (引渡し訓練)



- ・保護者にメールを配信し、児童の引き渡しを実施。



- ・引受者と避難場所を確認し、カードに記録。

災害安全

(安全教育) (安全連携)

地域想定避難訓練



牡鹿

地震があったら 津波に用心!

鮎川小学校では、福祉学習の取り組みの一つとして、津波を想定した避難訓練を行いました。おしかホエールランド周辺の公園で遊んでいるときに地震が起きた想定で、揺れている間は身を低くして体を守った後、津波警報が発令されてから一斉に高台に走って避難するという訓練内容でした。

また、避難訓練の後には、近くの高台にある昭和8年3月3日に起きた津波を伝える石碑や周辺の清掃活動も行いました。この石碑には「地震があったら 津浪の用心 それや来た逃げよう この場所へ」と記されています。

東日本大震災から11年が経ちますが、災害に対する訓練を継続して行っています。



石碑をきれいに磨きました!



一目散に高台を目指します

- ・児童が鮎川港付近で遊んでいるときに、震度6以上の地震が発生したことを想定。
- ・今年度はコロナ感染症の影響により、本校単独で実施。
- ・津波浸水域の拡大により、避難経路、避難場所を昨年度のものから変更。

災害安全 (安全教育)

地域想定避難訓練



- ・鮎川集会所にある「昭和三陸津波の石碑」を子供たちが避難終了後に清掃。
- ・石碑には「地震が来たら 津波に用心 それや来た 逃げようこの場所へ」と書かれている。

交通安全

1 交通安全教室

2 学校区パトロール

3 安全指導

交通安全 (安全教育) (安全連携)

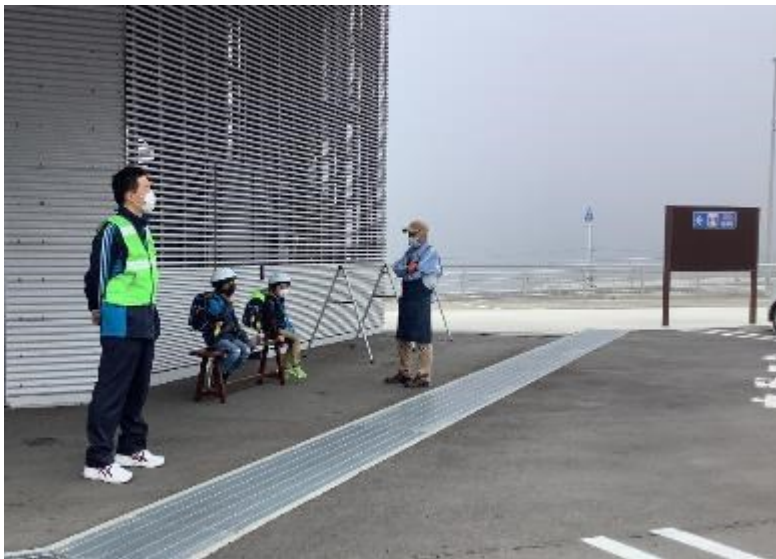
1 交通安全教室



- ・年2回(春・秋)実施し, 牡鹿駐在所の方に協力依頼。
- ・交通ルールの確認及び危険回避の指導を行う。

交通安全 (安全教育) (安全管理)

2 学校区パトロール



- ・年4回(4月, 6月, 10月, 1月)実施。
- ・教職員が児童と一緒に登校し, 通学路の確認及び, 危険箇所の点検を行う。

交通安全 (安全教育)

3 安全指導



- ・毎月1回、業前の時間に登下校時の交通安全やバスの乗り方などについて、子供たちと担当教員が確認する。

その他

地域と連携した組織づくり



- ・学校安全委員会
- ・学校防災教育地域連絡会

その他

SPS再々認証



成 果

- ・地震の際は、わずかな揺れでも机の下に潜り、整然と行動することができた。
- ・地域とのつながりを意識した取組を継続して行うことができた。
- ・引渡し訓練など、牡鹿中学校区の4校と連携して取り組むことができた。
- ・防災に対する意識を更に高めることができた。

課 題

- ・職員も児童も実際の災害をイメージし、次に自分がどうすればよいのかを判断できるようにするトレーニングが必要である。
- ・職員の異動によって、これまでの取組が途切れないよう、持続可能なものにしていく必要がある。
- ・今後も最新の災害情報の発表、発令に対応していけるように情報の収集、共有を行う必要がある。



ご清聴ありがとうございました。